



黒小だより



令和8年4月30日

第1号

【今年度の重点目標】 ～豊かに表現し、学びを深める子の育成～

○学ぶ楽しさと成長を実感できる学校 ○元気の挨拶と思いやりにあふれる学校 ○保護者・地域の信頼で結ばれる学校

あいさつで始める4月 あいさつから始まる人とのかわり

校長 半田 健一

284名の児童が新しい1年をスタートさせました。入学した1年生50名、そして始業式には5名、その後2名の転入生を迎え、1学級編成だった2学年が、突然2学級となりました。子どもたちも、保護者のみなさんもびっくりされ、困惑されたことと思います。2学級になる日の朝、校門のところで、ある2年生が、「(仲のよい友達と) 別々になったから泣いちゃった」と話してくれました。やっぱり子どもって素直でかわいいなと思います。

私も教員になってから、このようなタイミングでの学級増は初めてのことで、かなりドタバタしましたが、黒川小学校へ通う子どもが一人でも増えることは、とても喜ばしいことです。2年生にはガラッと変わった環境の中で、ますますできることを増やしてほしいと思っています。

そのような突然があったため、現在、教職員数で1名欠員の状態にあります。1日でも早い補充をお願いしていますが、報道等でも話題になっているように全国的に臨時的任用職員が不足しており、すぐにはいきません。職員全員でカバーしながら進めておりますが、ご迷惑をおかけすることもあると思います。どうぞ、ご理解ください。

始まりの4月、上級生が、黄色いランドセルカバーをつけた1年生を気遣いながら登校する姿が今年も見られます。ありがたく、嬉しいことです。4月の重点は「あいさつをしっかり」。全校朝会で右下図のようにあいさつの取組について話したところ、「打てば響く」鐘のように、意識して実践しようとしてくれている子どもたちの姿が数多く見られ、嬉しくなりました。例えば、下にあげるようなあいさつがありました。

【あかるく】

- ・登校中、国道を挟んだ反対側からでも聞こえる元気な声
- ・2人並んで笑顔であいさつ、2人揃ってペコッとおじぎ

【いつでも だれとでも】

- ・学校を訪れたお客様へも「こんにちは」
- ・1年生を迎えに来てくれた保護者の方へも「さようなら」

【じぶんからさきに】

- ・反対方向を向いている私の後側をそーっと通り過ぎることなく(笑)、背中越しにでも「おはようございます」

初めて会う人や、自分の方を見てくれない人に、自分からあいさつをするのは勇気のいることです。「相手はどう思うのかな」「あいさつを返してくれるのかな」…そんなことが頭をよぎると思うのですが、踏み出せたことが素晴らしいと思っています。そんなあいさつに一人一人がしっかり取り組み、1年間【つづけよう】と思ってくれたら嬉しいです。あいさつは、何より相手に安心感を与えるものですから。 あいさつしてくれない人には、ちょっと近寄りがたいですね…。

先週の参観日後の懇談では、育てたい子どもの姿、今年度の重点と取組、いじめの防止、校内教育支援センター等について説明させていただきました。何かありましたら、遠慮なくお問い合わせ、ご相談ください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



